

令和3年度 改善状況報告書

令和4年3月
三重短期大学

令和3年7月9日（金）に開催された令和3年度第1回三重短期大学外部評価委員会において、外部評価委員からいただいたご意見に対する現時点での学内における改善状況を、以下の通りご報告いたします。

【意見1】退学者のフォロー、退学に至った学生の考え方を大学として把握する必要があるのではないか。

【回答】学生部で退学の相談を受けた場合、学生部長と学生部職員で聞き取りを行い、必要に応じて学科長やゼミ担当教員、クラス担任に連絡を取って協議しています。その後、学務委員会で退学の理由も含めて審議の上、教授会で審議、承認しており、プライバシーに配慮しつつ、退学に至った学生の考え方を学内で共有するようつとめています。

【意見2】法経科第2部の定員充足率が57.8%となっているが、現在、企業は学び直し、つまりリカレント教育に力を入れている。法経科第2部の特色を生かし、入学者数を増やす取組として高校へのPRだけでなく、企業に対してPRしてはどうか。

【回答】法経科第2部では令和3年度から長期履修学生制度を開設し、4名の長期履修学生が入学しました。また昨年度の外部評価委員会でのご提案を受けて、県内の生涯学習センターや図書館、公民館に案内パンフをお配りしています。昨年12月には津税務署の若手職員と懇談し、勤務後の本学での学習について、カリキュラム内容や授業時間についての意見を聞き取りました。感染症拡大のために延期していますが、高卒社員の多い近隣企業への訪問を検討しており、今後も企業へのPRにつとめます。

【意見3】学生のディプロマ・ポリシーの修得度を確認するなどの方法を整理し、ルーブリックの作成を進めていくべきではないか。

【回答】「教学マネジメント指針」（令和2年1月22日 中教審大学分科会）で求められている、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示す学修成果の適切な測定・評価方法、その指標を検討中です。今年度は、3学科すべてでゼミを必修化し、ディプロマ・ポリシーに示す成果が上がっていることを確認する指標として、全学生に卒業論文・卒業作品等を課すこととし、アセスメント・ポリシー(案)をまとめました。来年度は評価基準明確化のためのルーブリックの活用について、またアセスメント・テストの実施について検討し、同ポリシーを確定させる予定です。

【意見 4】 精神疾患や発達障害を持った学生が増えており、さらにコロナ禍での不安を抱える学生が多い中、特に短期大学の学生については、授業のスケジュールが厳しく、学生相談に行く時間を確保することも難しいと考えられるため、大学として、いつでも相談できる体制を整えることが重要ではないか。

【回答】 短期大学であるため授業のスケジュールがタイトであることに加え、本学は夜間部があるため、学生相談室の利用希望時間帯の幅が大きくならざるを得ません。毎年度末に学生相談室利用状況のデータを分析し、担当の臨床心理士とも相談の上、学生の希望に可能な限り応えるべく、午前、午後に関室時間帯を振り分けるなど工夫をしています。コロナの影響も勘案しながら、今後もより良い相談体制の整備につとめます。

【意見 5】 学生のためにも、Wi-Fi 環境の整備を強化することが必要ではないか。

【回答】 生協学生食堂や学生自治会室が入っている大学ホールでは、従来から Wi-Fi の利用は可能でしたが、一昨年度からオンライン授業が増えたことを受け、同ホール内での利用可能枠を広げ、また校舎棟の一部の教室でも Wi-Fi 利用が可能になりました。今後も情報環境の整備につとめてまいります。

【意見 6】 夜間の学生の安全確保のためにも、暗い部分への照明設備を整備していくことが必要ではないか。

【回答】 11 月開催の「学生と学長との座談会」でも同様の要望が出ました。グラウンド北側に 2 か所センサーライトを設置し、また従来から設置されている照明を整備し、さらに「スイッチの位置がわかりにくい」との指摘を受けたことから、校舎棟や管理棟の照明のスイッチ版それぞれに、対応する箇所を明示しました。

【意見 7】 校舎棟の大規模な改修工事を実施する上で、アスベストの含有個所などは、学生への健康被害を起こすようなことがないように、適切に設置者として管理していくことが重要ではないか。

【回答】 校舎棟の改修に向けた設計を行うにあたり、工事に関係する箇所のアスベスト調査を実施しました。調査の結果、アスベストの含有はありませんでした。今後、改修工事の実施にあたりましては、設置者として学生の安全確保に十分に注意を払うとともに、施工業者に対し指導をしてまいります。

【意見 8】 大学案内や学科ごとのパンフレットを有効に活用していくためには、それぞれの利用目的を整理した上で、記述内容を見直す必要があるのではないか。

【回答】 広報委員会が従来から作成している「大学案内」に加え、数年前から各学科が自主的に独自の案内パンフレットを作成し、高校や関係機関に配布しています。今後は学科から原案の提案を受け、広報委員会でその利用目的、記述内容を精査した上で発行します。